

2010年3月19日

非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会

**自己血保冷庫の不具合により、自己血が使用不可で採取延期となった事例
(報告)**

本年3月5日付緊急安全情報により、採取施設の自己血保冷庫の不具合により、保冷庫内の温度が30℃に上昇したためドナーの自己血700mLが使用不可となり、採取が延期となった事例について報告しました。

このたび、本事例に関して当該施設より調査結果が報告されましたのでご報告いたします。

1. 採取施設からの報告

<原因>

・温度調整器内中枢基盤の故障 (メーカー調査結果)

a) 保冷庫内の温度上昇の原因

中枢基盤の故障により、冷却機が停止し保冷庫内の温度が上昇した。(30℃まで上昇)

b) 警報アラームが作動しなかった原因

中枢基盤の故障により、警報アラームも作動しないという状況に陥った。

担当職員が毎日、9時と16時に定期点検を実施し、夜間は夜勤職員が配置されていたが、警報アラームが作動しなかったため翌朝まで発見できなかった。

<対策>

・各保冷庫に、適正な温度を逸脱した際に警報を発するよう警報装置を複数設置する。

2. ドナーおよび患者の状況

ドナーは再度400mLの自己血採血を行い、当初予定の7日後に骨髄採取、移植を実施した。

以上

財団法人骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会 事務局
ドナーコーディネート部 橋下、坂田
TEL 03-5280-2200 FAX 03-5283-5629